

第26回 全国サイクリングラリー宮崎県大会

黒潮洗う日南海岸を走る!!

第26回全国サイクリングラリーは、来る7月24日(土)～25日(日)、宮崎県において全国各地から1,500名のサイクリスト(地元参加者含む)が参加して下記の要領で開催されるので、参加希望者は参加料を添え、4月末日までに所属協会へ申し込んで下さい。(開催要項、申し込み書は各協会にあります)

今年度は、宮崎県の代表的な景勝地、日南海岸国定公園を中心として開催されるので、眼下に広がる青い海と空を見ながらの魅力あるサイクリングを楽しめると思います。

- 参加料:**(1)大会参加料……2,500円(記念品・昼食、傷害保険、その他)
(2)宿泊費……7,000円(一泊2食)
(3)オプションコース……7,500円(宿泊、弁当代)
(4)弁当代……500円((3)以外で、閉会式後弁当を希望するもの)

参加資格:各都道府県協会所属会員及びJCAが特に認めた者で、自己の責任においてサイクリングのできる者。

会場:集合場所・宮崎市役所前噴水公園
開会式場・宮崎市民会館大ホール
閉会式場・飫肥城址

宿舎:日南市、北郷町、南郷町の各ホテル旅館)

日程:7月24日(第1日)
8:00～9:00 集合・受付
9:20～10:00 開会式

10:15～ 実走出発
17:00～17:30 宿舎到着
7月25日(第2日)
9:30～10:30 閉会式(別れのつどい)

コース:

- Aコース(日南海岸コース)“自由に日南海岸を走ろう”〈県外参加者コース〉
宮崎市民会館→宮崎県総合運動公園→こどもの国→青島→堀切峠→サボテン公園→鶴戸神社→日南市(北郷町、南郷町)日南市57.5km、北郷町59km、南郷町62.5km
- Bコース(市内めぐり、堀切峠コース)
宮崎市民会館→山形屋デパート前→宮崎駅→大淀大橋→南宮崎駅→宮崎南バイパス→宮崎県総合運動公園→こどものくに→青島→堀切峠→フェニックスドライブイン 21.5km
- オプションコース
日南市→外之浦マリンパーク→幸島→都井岬 48km

免責事項:大会参加中の事故は、加害、被害とも各人の責任とし、交通傷害保険の給付限度以上の保障には応じられません。

大会事務局:瀬頭ビル303号
宮崎県サイクリング協会

TEL. 0985-24-8864
(夜間、日曜・祭日)
TEL. 0985-22-2226(矢野宅)

早サイ全国指導者研修会

●●母親も熱心に受講●●



昭和56年度のおはようサイクリング指導者研修会が、3月24～25日の2日間にわたり伊豆のCSCで開催された。

第1日の24日12時の受付時間には、おはようサイクリングの各会場で実際に現場で指導に当たっている指導者や子供といっしょに参加している母親等が集まり、予定どおり13時より開講式がおこなわれ、JCA馬越副会長、CSC石田所長より施設の説明があり14時より馬谷川純三筑波大学教授のおはようサイクリングの社会的意義についての講義があった。

1時間半ほどの講義のあと、参加者は5キロサーキットへ移動し、実走を含む実習を行った。CSCが初めての参加者が多く、規模の大きさにびっくりしていた人もいたが、5キロコースを思うぞんぶん走っていた。

夜は夕食後、サイクリングの映画の上映を行い、21時に第1日のすべての日程を終了した。

第2日目は、朝9時より日本レクリエーション協会の三浦一朗指導部ディレクターよりレクリエーションの実技指導があり、数多くのゲームを実際に体でおぼえることができ好評であった。一汗流した参加者は、11時より研究協議を行い、1泊2日の全日程を終了し昼食後解散した。

JCAの昭和57年度 事業内容決まる

JCAの昭和57年度実施事業内容が決まりました。今年度事業のうち昨年度と大きく変わったものは、5年間続けて開催していた集印サイクリング、サイクルOL全国大会、指導普及用自転車の購入がなくなり、新規事業としてセンチュリーラン大会の開催が決った。

〔公益事業関係〕

1. 指導者の育成

- ①中央指導者研修会 1回開催
- ②中央指導者講習会 1回開催
- ③地方指導者研修会 20回開催
- ④地方指導者講習会 40回開催

2. サイクリング教室の開催

各都道府県協会において年80回開催

3. サイクリングラリーの開催

- ①全国ラリー 1回開催
- ②ブロックラリー 7回 "
- ③県ラリー 50回 "

4. おはようサイクリングの開催

全国各都道府県協議会で開催、年1回ブロック別説明会と中央研修会を開催する。

5. 指導用教材の整備

テキスト、パンフレット、JCAニュース等を作成する。

6. ファミリーサイクリング大会の開催

全国20地区において開催する。

7. サイクルスポーツ大会の開催

今年度はサイクルOL全国大会にかわり、センチュリーラン大会を4地区において開催し、サイクルレースとサイクルツーリングの中間的分野であるサイクルスポーツの普及推進をはかる。

〔機械振興事業〕

1. スポーツ車通学禁止対策調査

スポーツ車の通学禁止または、禁止していたが解除した中学校に対し、禁止理由、禁止時期等について調査を行う。

ファミリーサイクリング大会

今年度も20地区で開催

昨年から毎年5月に実施されることになった、自転車月間の有力行事の一つであるファミリーサイクリング大会を、今年度は下記の20地区において実施することになった。大会行事内容については親子ファミリー層が中心となっているので、自転車安全教室、サイクルゲーム等が予定されている。

〔北海道・旭川、十勝〕・〔青森〕・〔秋田〕・〔宮城〕・〔東京〕・〔神奈川〕・〔埼玉〕・〔石川〕・〔岐阜〕・〔愛知〕・〔和歌山〕・〔滋賀〕・〔広島〕・〔島根〕・〔徳島〕・〔佐賀〕・〔大分〕・〔熊本〕・〔福岡〕（主管各県協会）

お早ようサイクリングを指導

子供からお年寄りまで

吹田市の市報におはようサイクリングの指導をされている寺島常蔵さん(70才)が記事として取り上げられましたので紹介します。

(原文のまま)

真っ赤な車体のサイクリング車で、老人仲間との自転車旅行を楽しんだり、市内のサイクリング同好会の育成に努めているお年寄りがいます。

寺島さんは、子供からお年寄りまでの体力づくりのためにと「おはようサイクリング会」を結成。以後、冬場を除く毎日曜日の早朝、ニュータウン内の公園に集まった参加者に、自転車の正しい乗り方や点検の仕方なども交えながら、約1時間余り安全なサイクリング方法を指導しています。

この会は、ラジオ体操をした後、自転車に乗って公園内や付近を自由に走ってもらおうというもので、これまでに最高150人もの参加者があるほど。ことしも3月28日から始められます。

寺島さんは「老人サイクリングは、坂道は自転車を降りて押して歩くことです。心臓に

も負担がかかりません。自分の好きなスピードで、風をあびながら快走する気分は格別です」とサイクリングの楽しさを話しています。

〈第7回〉

チャレンジロードレース大会

雨の中1,300名が激戦

第7回チャレンジサイクルロードレース大会が、3月14日伊豆修善寺の日本サイクルスポーツセンター5キロサーキットで開催され雨にもかかわらず1,250余名が参加して激戦をくりひろげた。

雨のためコースがすべるので棄権した者もあったようだが、それでも年々参加者が増加しておりサイクルスポーツへの感心が高まっているのがわかる。新聞や雑誌等をにぎわしている阿部和香子(福島)は、登録競技者が対象の普及大会に出場し、40キロを1時間24分20秒で走り優勝した。

民宿業者がサイクリングクラブ発足

自転車健康づくり

千葉県安房郡和田町の和田浦観光振興会では、年中無休の民宿・旅館業者は健康作りが必要とサイクリングクラブを発足させた。

会員の自転車は、菜の花の産地としても有名なことから黄色に統一され、クラブ員は分担して、一ヵ月がかりで町内を走りまわって6つのサイクリングコースを作り、手作りのイラスト地図も作成した。

また、自転車をクラブ員の宿泊施設に5～10台用意し、希望者に無料で貸し出して、町の良さを自転車に乗って楽しんでもらうとともに、同町をサイクリストの溜り場にしたいと大きな夢をもっている。

クラブ員は、本格的なサイクリングによる健康づくりを開始するとともに、正式なサイクリングの指導者資格を取り、これからおとずれの観光客に安全に乗ってもらうように努力するつもりとはりきっている。

往復はがきでご応募ください!

幸せの自転車プレゼント

自転車月間推進協議会の主催による自転車月間クイズと図画「パパ(ママ)と自転車」が下記の要領で5月に行われますので、ふるってご応募ください。

1. 自転車で築こう明るい社会、自転車月間クイズ

問 題: 5月は〇〇〇月間です。
さて、〇〇〇の中にあてはまる文字は何でしょう。

応募方法: 往復はがきに答えを書いてください。(お一人一通に限ります)

賞 品: 正解者の中から抽せんで
金賞 100名、幸せの自転車各1台
銀賞 1,000名、川上麻衣子「サンデーサイクリング」レコード各1枚(応募者全員に外国の自転車切手)

2. 図画「パパ(ママ)と自転車」募集

応募方法: 小学校6年生までの児童。往復はがきに絵を描いてください。

賞 品: 入選50名、幸せの自転車各1台
全応募者から抽せんで
金賞50名、幸せの自転車各1台
銀賞 1,000名、川上麻衣子「サンデーサイクリング」レコード各1枚(応募者全員に外国の自転車切手)

1・2の企画とも下記へ

○ **締切り:** 昭和57年5月31日 当日消印有効

○ **審査:** 各界の有名人が審査

○ **発表:** 昭和57年6月下旬

○ **応募先:** 〒107 港区赤坂1-9-3

日本自転車会館内
自転車月間推進協議会

○ **問合せ:** (財)自転車産業振興協会内

自転車広報センター
TEL. 03-586-0404

ツールド・フランス観戦ツアー

この夏興奮の10日間

日本旅行の主催による82年ツール・ド・フランス観戦ツアーが企画されました。

82年のツール・ド・フランスは、スイスのバーゼルをスタートしフランスを一周、凱旋門をゴールとする3,500キロで争われます。

コースの特徴としては、山頂にゴールを設けている所が3ヶ所あり、今回のツアーではそのうちの2ヶ所、アルプデュエとモルジューで観戦が予定されています。

また、レースの観戦以外にも各都市での観光のほか、ミラノではチクリを訪問する予定。

今回は、自転車を持っていくこともできるので、ジュネーブのレマン湖畔、パリのプロニュの森やアルプスの山道を思う存分自分の力で走ることもできますので多くの方々にご参加いただきたいと思います。

期 間: 7月18日(日)~7月27日(火)

費 用: 388,000円(ホテル含)

申込締切: 6月25日(金) 必着

募集人員: 30名(定員になり次第締切)

日 程:

7月18日 成田(夜)~ジュネーブ

7月19日 機内~ジュネーブ(市内観光)

7月20日 ジュネーブ~アルプデュエ(観戦)

7月21日 ジュネーブ~モルジュー(観戦)

7月22日 ジュネーブ(シャモニー・モンブラン)~ミラノ

7月23日 ミラノ(チクリ訪問)~パリ

7月24日 パリ(市内観光)

7月25日 パリ(最終ゴールを観戦)

7月26日 パリ~機内

7月27日 成田着(午後)

申し込み・問合せ先:

日本旅行堀留営業所ツール・ド・フランス観戦デスク

〒103 中央区日本橋堀留町1-10-12

TEL. 03-662-1725 担当: 秋元、遠藤